

重点目標 質問項目 達成度・課題と改善方策 6 先生は楽しくわかりやすい 授業ができている ■そう思う ■ほぼそう思う ■あまり思わない ■思わない ■無回答 保護者 57.1% 牛 徒 授業力向上につなげる。 教職員 7 ICT・1人1台端末の活用に より授業がわかりやすくなって いる ■そう思う ■ほぼそう思う ■あまり思わない ■思わない ■無回答 28.6% 12 9% えられる。 8 授業で学んだことを生活の 中で活用しようとしている ■そう思う ■ほぼそう思う ■あまり思わない ■思わない ■無回答 学習指導 42.9% 14.3% る。 教職員 9 表現力がついている ■そう思う ■ほぼそう思う ■あまり思わない ■思わない ■無回答 14.3% 14.3% 保護者 になっている。 14.3% 28.6% 14.3% 教職員 10 毎日家庭学習をしている ■そう思う ■ほぼそう思う ■あまり思わない ■思わない ■無回答 保護者 28.6% 組んでいく。

○生徒の「先生は楽しくわかりやすい授業が できている」の「そう思う」の回答が71.4% と高い評価となっている。教職員の授業の工 夫や教材研究の努力の成果が生かされた 結果である。すべての生徒が「わかる・でき る」授業を展開するために、ユニバーサルデ ザインの視点を踏まえ、授業改善に取り組む 必要がある。校内研修やメンター研修により、

○保護者の「ICT・I人」台端末の活用によ り授業がわかりやすくなっている」は昨年度 より小さい回答になっている。生徒・教職員は 肯定的な回答の割合が昨年度よりも大きく なり、GIGAスクール構想による | 人 | 台端末 を授業で活用する機会が多くなったことが理 由と考えられる。|人|台端末の効果的な活 用について校内研修が実施できた成果と考

○「授業で学んだことを生活の中で活用しよ うとしている」について、保護者と生徒の回答 の割合に隔たりがある。授業の中でペアやグ ループ活動にて、生徒同士で話し合う必要 がある内容を精選し時間の確保、|人|台端 末の効果的な活用など、工夫する必要があ

○「表現力がついている」は「あまり思わな い」の回答の割合が大きい。保護者・生徒・ 教職員のすべてにおいて、昨年度より小さく なっている。学校行事では、1人1人が自信を もって生き生きと表現する姿が見られるよう

○「毎日家庭学習をしている」の肯定的な回 答が昨年度より、保護者・生徒・教職員のす べてにおいて大きくなっている。適切な課題 の内容や量と計画的に家庭学習が行われた と考えられる。確かな学力の育成に向けて、 家庭学習の定着は必要である。家庭学習の 習慣化が図れ、主体的に取り組めるよう取り

教職員

14.3%









